



支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78 番地

高知ろう学校 相談支援部

電話 088-823-1640 fax 088-823-1752

E-mail : k-ro@g.kochinet.ed.jp

令和7年度

第4号 3月13日発行



3月に入り、吹く風も少し暖かく感じられるようになりました。子どもたちはそれぞれの園や学校で、今年度のまとめの日々を送っていることと思います。本校では、3月1日に高等部卒業式が挙行され、1名が次のステージへと巣立っていきました。3月17日には、小学部、中学部の卒業式が挙行されます。次の学部へ進む人、地域の学校へ進学する人、それぞれの道で、いろいろなことを経験してたくましく成長してくれることを願っています。

令和7年度特別支援学級等サポート事業について（教育相談担当より）

県の実施しているサポート事業については、令和7年度もたくさんの学校（保育園1園、小学校7校、中学校1校）が活用されました。それぞれの学校で頑張っている子どもたちの学校での様子を参観し、先生方と現状の課題や子どもたちの成長について、自立活動の教材や取り組みについて等、お話することができました。今年度サポート事業を活用した先生方に感想を寄せていただいたのでご紹介します。



今年初めて難聴学級を担当することになり、経験も対応も初めてで手探りや独学のみで取り組むことに不安でした。サポート事業を活用させていただき、専門の先生に授業の様子から多くのご助言をいただきました。聴こえ方について視点を変えたり、相手の立場に立ったり、今まで見ることができていなかった方向から見ることで児童の気持ちを考えてできていなかった配慮をしていくことができました。この経験を元に、今後児童にとって必要な支援は何かを考えつつ、取り組んでいきます。（小学校A先生）



日頃のデジタルワイヤレス補聴援助システム（ロジャー）を使っでの授業の様子を参観していただいた。教員だけでなく、グループ学習において児童も活用しており、難聴児童に他者の考えを届ける一助になっている。その活用方法が正しいものであるか、心配されていたが、的確なアドバイスをいただき、今後自信をもって利用できる。また、語彙を増やす学習方法について、書籍や手立てを教えていただき、本児にあった自立活動の組み立てを考えることができた。CD等機械音にロジャーを近づけての活用方法では本児の表情を見て活用していたが、聞こえの心地よい音域が健聴児に比べて狭いことを知り、配慮の必要性に気づかされた。今後、本児と「聞こえる」だけでなく、心地よい音の調整をしていくことも考えていきたい。（小学校B先生）



初めて特別支援学級の担任を務める中で、自立活動の内容や児童との関わりに不安や戸惑いを感じる事が多くありました。しかし、サポート事業を受けて様々な学習方法や支援方法を知ることができ、それらを日々の指導や生活に生かすことができているため、とても良かったと感じています。児童の実態はこれからも変容していくと思われるので、今後もこのようなサポート事業を活用しながら、児童に合った学習方法や支援方法を取り入れていきたいと思っています。（小学校C先生）



お知らせ

以前支援センター便り第1号でもお伝えしましたが、令和7年度より、通常学級に在籍している聴覚障害児童生徒についても、サポート事業を活用できるようになりました。皆さんの園や学校に在籍している片耳難聴の子どもさんや、難聴学級には在籍していない難聴の子どもさんの支援方法や聞こえについてのご相談等ありましたら、ぜひ、この事業を活用してください。

春休み中に…（ご家庭へ）

春休みには、ぜひ補聴器や人工内耳の点検をして下さい。イヤモードに欠損はないかチューブが固くなってないか、フックの緩みはないか雑音はないかなど、販売店で点検をしてもらっておくと安心です。人工内耳の人は、サウンドプロセッサに破損がないか、ケーブルを手で動かしても音切れがないかなど、お家の方と一緒にチェックしてみてください。

次の学年へ…（先生方へ）

子どもたちが、新しい学年をスムーズにスタートできるように、今年度の学習の様子、有効だった支援や取組、課題等について、個別の指導計画等でしっかり引継ぎをお願いします。特に上の学校へと進学する際には、引継ぎシート等を活用し子どもたちが新たな場所で安心して学べる準備をお願いします。

春の言葉クイズコーナー！

先生やお家の人と挑戦してね。
ちょうせん

つぎの文字をならべかえて、春の言葉を見つけよう。

①くらさ



②なひまさお

③つぎよそう

④くきがゆにうし

⑤いばるんちは



ヒント

- ① 春に咲く花 ② さんがつみっか 三月三日 ③ 6年生とお別れするよ。④ 1年生になるよ。⑤ 春のはじめにふく風

相談支援部よりごあいさつ

本年度も保護者の皆様、各学校、各関係機関の皆様、大変お世話になりました。6月の各学部の体験入学、8月サマースクールと西部合同相談会等、通常通りに開催することができました。サマースクールでは、10月に東京で開催されたデフリンピックの代表選手2名（1名は本校卒業生）と陸上部OB2名の4名を講師として招き、小学生対象の「走り方教室」を開催しました。本校の子どもたちも、日頃地域の学校で学んでいる子どもたちも、自分と同じ補聴器や人工内耳をしているお兄さんたちとの交流は、とてもいい経験になったのではないかと思います。

次年度も、子どもたちが生き生きと充実した学校生活が送れるように、関係機関や各学校、保護者の方と連携を取りながら、センター的役割を果たし、子どもたちへのより良い支援、環境作りに取り組んでいきたいと思っております。